

平成22年度 事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人 薬学共用試験センター

1 事業の成果

平成23年度に薬学実務実習を履修する全国の薬系大学(71大学72校)の6年制課程の4、5年次学生を対象とした第2回薬学共用試験(CBT、OSCE)を実施した。東日本大地震と東京電力の計画停電の影響で、日程変更が数件あったが、CBT、OSCEのいずれも概ね支障なく実施することができた。CBTについては各学生の解答送信のログを残し試験後に確認出来るようシステムを改良した。またOSCEについては、特に次年度(平成23年度)に初めて共用試験を実施する薬系大学に向けて、その準備を支援する目的で全国共通認識を持つ評価者を養成すべく講習会を開催した。今後実際の試験を想定したシミュレーションを行い問題点の割出しとその改善を行う。次年度以降も全国共通の理念に則った薬学共用試験が実施されるものと期待できる。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBT実施における注意点や第1回本試験で新たに見出された事象などの周知徹底を目的としてCBT説明会を開催した。	平成22年7月12日	慶応義塾大学薬学部	7人	全国薬系大学の教員(約60名)	100千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBT実施における注意点や第1回本試験で新たに見出された事象などの周知徹底を目的としてCBT説明会を開催した。	平成22年7月14日	京都薬科大学	7人	全国薬系大学の教員(約60名)	100千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第2回共用試験CBT本試験に先立ち、受験学生の練習や運営体制の確認、新規問題の妥当性の検証を目的としたCBT体験受験を実施した。	平成22年7月21日-9月17日	70薬系大学71校	100人	全国薬系大学の教員(約220名)及び薬学生(10,698名)	2,400千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCE新規課題およびモニター員説明会を開催し、22年度出題対象の課題の評価ポイントや事前審査手順などを説明した。また、モニター員の役割についても協議した。	平成22年8月1日	慶応義塾大学薬学部	18人	全国薬系大学の教員(約160名)	650千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	主に平成23年度に初めて共用試験を実施する大学を中心にOSCEの評価者養成伝達講習会を開催した。ロールプレイを通じて評価の基本概念や各大学での評価者養成におけるポイントを共有した。	平成22年9月5日	京都薬科大学	13人	全国薬系大学の教員(約60名)	25千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第2回共用試験(CBT、OSCE)の本試験および追・再試験を実施した。	本試験:平成22年12月2日-平成23年1月31日、 追・再試験:平成23年2月20日-3月25日	71薬系大学72校	260人	全国薬系大学の教員(約750名)及び薬学生(10,926名)	5,500千円